

Security+

エンタープライズ環境のセキュリティ態勢を評価し、適切なセキュリティソリューションを推奨および実装するスキルを評価する認定資格

Protect Your Organization with Security+ Certification



CompTIA Security+ は、セキュリティのコアとなるスキルを習得し、セキュリティキャリアを推進していく上で必要となるベースを育成できるワールドワイドの認定資格です。

CompTIA Security+ は、サイバーセキュリティのアーリーキャリアとして最初に取得すべき認定資格です。CompTIA Security+ は、サイバーセキュリティのプロフェッショナルが、ネットワークの保護、脅威の検出、データの保護に必要な基本的なセキュリティスキルを、パフォーマンスベースの問題を通じて習得することができます。

サイバーセキュリティのキャリアを確立する

必要不可欠なスキルのコアとなる基礎を身につけ、充実したキャリアへの道を開きます。サイバーセキュリティの基本スキルとして Security+ を使用する職種は、業界で最も多くなっています。

現場でのスキルを評価する

Security+ は、市場で最も広く採用されている ISO/ANSI 認定のアーリーキャリア向けサイバーセキュリティ資格であり、認定試験では実践的なパフォーマンスベースの問題が課題されます。これらの実践的な問題は、実際の状況で効果的に問題を解決する能力を評価し、雇用主に対してあなたの専門知識を即座にアピールすることができます。

最新のトレンドを取り入れる

サイバーセキュリティテクノロジー、用語、手法、ツールの最新のトレンドを理解し、使用することができます。自動化、ゼロトラスト、リスク分析、運用技術、IoT などの最新トレンドのスキルを早期に習得することで、進化し続けるサイバーセキュリティの世界で活躍できるようになります。

費用対効果：ROI

多くの IT 管理者 (97%) は、生産性の向上、顧客要件への対応、組織のギャップの解消など、認定プロフェッショナルが組織にもたらす価値を認識しています。¹

最新トレンドの理解

現在、回答者の約 66% がパブリッククラウドで、45% がプライベートクラウドを利用しています。² CompTIA Security+ は、クラウドとオンプレミスの両方のハイブリッド環境で働くことができる人材を育成し、ワークフォースニーズを満たします。

需要の高い人材

米国では、サイバーセキュリティスペシャリストに対するニーズが高まり続け、2033 年までに約 23 万 4,000 人に達すると予想されています。サイバーセキュリティスペシャリストの 10 年間の成長予測は、全米の成長率を 242% 上回っています。CompTIA Security+ は、学習者がサイバーセキュリティのスペシャリストとして働くために必要なスキルを学びます。³

キャリアの向上

IT 資格を持つ受験者の多くは、自分の能力に高い自信を抱いています (92%)。⁴

より良い給与を得る

Security+ 取得により、知識とスキルを証明し、より高い報酬を得ることができます。一部のセキュリティスペシャリストの年収は 102,600 ドルに上ります。⁵



"業界の業界による 業界のための資格"

CompTIA 認定資格は、試験作成委員会を中心となり、ニーズ調査・職務分析・リサーチを経て、SME (サブジェクトマターエキスパート) と呼ばれる現場関係者により開発が進められます。

CompTIA Security+ SME

- 海外 / 一部抜粋
 - Amazon Web Services
 - Agile Defense, Inc.
 - The Boeing Company
 - Cisco
 - Cyber Warfare Tactics
 - First American
 - Governors State University
 - IBM
 - The Johns Hopkins University
 - Applied Physics Laboratory
 - Microsoft
 - Netsmart
 - Open Society Foundations
 - US Navy
- 日本 (50 音順)
 - さくらインターネット株式会社
 - トレンドマイクロ株式会社
 - 陸上自衛隊通信学校
 - 釜山 公徳氏



CompTIA Security+ 取得後は、次のようなキャリアで活躍できます

- セキュリティスペシャリスト
- セキュリティエンジニア / セキュリティ管理者
- システム管理者
- ヘルプデスクアナリスト
- セキュリティアナリスト

様々なグローバル企業では、自社の社員の育成に Security+ を必須 / 推奨資格として活用されています。

新しい CompTIA Security+ (SY0-701) は、サイバーセキュリティにおける最新かつ最高のものであることを証明するもので、現在のトレンドに関連する最も需要の高いスキルをカバーしています。認定者は、仕事で成功するために必要なコアスキルを習得できます。業界のどの認定資格よりも多くの職種で、サイバーセキュリティの基本スキルに Security+ が使用されています。

CompTIA Security+ 活用事例：米国国防総省での活用事例

2023年2月にリリースされた米国国防総省マニュアル 8140.03 (DoDM 8140.03) は、国防総省のサイバー要員の管理に関する基準を規定し、要員の認証、追跡、資格認定、報告を含む責任を割り当てています。DoDM 8140.03の資格基準は、DoDM 8570.03のようなコンプライアンスに基づくアプローチではなく、能力の実証に重点を置いており、サイバー要員が職務に必要な機能を遂行する能力を有していることを保証しています。2025年2月までに、国防総省の軍属および軍人であって、サイバーセキュリティ人材要素の DCWF 業務に従事する者はすべて、DoDM 8140.03 に従って資格を取得することが求められています。CompTIA は、現在、DoDM 8140.03 に基づき、Security+、CySA+、PenTest+、CASP+ など、31の業務における8つの認定資格の認可を受けています。

主な出題範囲

CompTIA Security+ 認定資格を取得することで、下記のような知識とスキルを持っていることを証明します。

- エンタープライズ環境のセキュリティ態勢を評価し、適切なセキュリティソリューションを推奨および実装する
- クラウド、モバイル、IoTなどのハイブリッド環境を監視および保護する
- ガバナンス、リスク、コンプライアンスの原則など、該当する規制やポリシーを認識したうえで運用する
- セキュリティイベントやインシデントの特定、分析、対応を実施する

CompTIA Security+ (試験番号 : SY0-701)	
1.0 セキュリティコンセプトの概要	12%
2.0 脅威、脆弱性、軽減策	22%
3.0 セキュリティアーキテクチャ	18%
4.0 セキュリティオペレーション	28%
5.0 セキュリティプログラムの管理と監督	20%

試験実施概要

試験番号	問題数	制限時間	合格ライン
SY0-701	最大で90問	90分	100～900のスコア形式 750以上

認定資格の詳細情報は、下記 Web サイトをご覧ください：

<https://www.comptia.org/ja-jp/certifications/>